

## 侵入確認技術の開発

## 1. 目的

アライグマの生息を簡便に確認する方法を確立する。

## 2. 調査方法

手形トラップ、毛取りトラップを作成し、大阪府高槻市の府営林等において検証する。

## 3. 調査期間

平成 18 年 4 月 7 日～9 月 12 日

## 4. 調査結果

## 1) 手形トラップ

上記の製品を用いて、簡便に設置でき、アライグマのみの痕跡が得られるような手形トラップを作成、改善、設置した。手形は得ることは可能であったが、得るまでに時間がかかった。また、足跡のようにしっかり押されてないため、判別が難しかった



写真 5 手形トラップ



写真 6 得られた手形

### 3) 毛取りトラップ

アライグマが手を入れた際に毛を採取する毛取りトラップを作成し、設置した。



写真7 毛取りトラップ



写真8 採取された毛

アライグマ以外の野生中型食肉獣で、中の餌をとるために前肢あるいは口吻を入れて、白い長毛が採取される種はいない。したがって、この方法により白い長毛が採取された場合はアライグマであると考えられる。

しかし、自動撮影装置で確認したところ、アライグマが本トラップの周辺を移動していてもトラップを触っておらず、毛も採取できていないことがあったことから、確実に存在を確認できるものではないことも明らかとなった。



写真9 アライグマの手を入れてみたところ



写真10 アライグマの口吻と前肢





写真11 タヌキの口吻と前肢



写真12 テン（冬毛）の口吻と前肢

(参考) 足跡トラップ

足跡トラップとはニュージーランドのConnovation社のTrakka Kitと呼ばれる製品である。特殊なインクと紙で、野外に放置しても2週間程度は足跡を得ることができる。アライグマの場合、この用紙を6枚並べて用いる必要がある。また、中央に置く餌のみをとられないように、覆いをつける必要がある。

足跡は得られるが、設置に場所をとり、手間がかかるのが難点である。



写真1 農業用のミニトンネルを用いて設置



写真2  
前肢足跡



写真3  
後肢足跡



写真4  
Trakka Kitの使い方  
(Connovation社HPより)